

今週（2月5日から2月9日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、前週からの流れを受け、引き続き資金調達ニーズの強い展開となった。加重平均レートは、週初5日(月)が▲0.008%、6日(火)が▲0.007%、7日(水)が▲0.006%と日を追う毎に上昇し、8日(木)には▲0.005%となり、昨年4月7日以来の水準となった。9日(金)は、今積み期最後の週末で4日積みとなったことから、一段と上昇する展開となった。

ターム物は、1Wから2W程度のショートタームを中心に▲0.01%近辺で出合いが散見された。

日銀当座預金残高は、530兆円台半ばからスタートし、週を通して大きな増減なく推移した。

●レポ市場

今週のGC T/N物は、▲0.095～▲0.06%近辺で推移する展開となった。先週末のレート上昇を受けて、5日(月)に国債買現先オペが実施されることとなった。オペの効果もあってか、5日(月)～8日(木)までは▲0.09～▲0.07%程度での推移となった。9日(金)は、短国と利国の発行が重なることから、レートがやや上昇する展開となった事もあり、午後には再び国債買現先オペが実施された。

SC取引の個別銘柄では、2Y450～456回、5Y150～164回、10Y350～373回、20Y180～186回、30Y65～81回、40Y13～16回などで引合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3M・6Mゾーンが軟調地合いで推移した。

6日に実施された短国買入オペは、前回と同額の1,000億円でオファーされ、弱めの結果となった。

8日に実施された6M物入札はやや弱めの結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットで無難な推移となった。

9日に実施された3M物入札は無難な結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは小甘い推移となった。

●CP市場

今週のCP市場は、石油、建設、卸売りなどで大型発行が見られた。

市場残高は27兆円を上回り、引き続き高水準で推移している。

発行レートについて、日銀適格担保銘柄の3M以内の案件では、0%から小幅なプラス圏での出合いが中心となった。一方で、ロングターム物の案件では政策変更への警戒感からか、レート水準にばらつきが見られた。また、非適格担保銘柄や、一部のノンバンク銘柄では、引き続き投資家目線の上昇が見られた。

8日に行われたCP等買入オペは、事前予定通り4,000億円でオファーされた。結果は、按分レート+0.007%、平均落札レート+0.019%と、前回比（按分+0.003%、平均+0.012%）で按分、平均ともに上昇した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
2/5 (月)	36,354.16	0.715	148.73	△ 0.008	△ 0.083	5,363,500
2/6 (火)	36,160.66	0.715	148.64	△ 0.007	△ 0.082	5,340,800
2/7 (水)	36,119.92	0.704	147.85	△ 0.006	△ 0.090	5,345,700
2/8 (木)	36,863.28	0.695	148.02	△ 0.005	△ 0.074	5,336,000
2/9 (金)	36,897.42	0.720	149.40	△ 0.005	△ 0.053	5,353,700

来週（2月13日から2月16日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
2/12 (月)	振替休日			1月の米財政収支
2/13 (火)	1月の企業物価指数(日銀 8:50)			1月の米消費者物価指数
2/14 (水)		GX10Y 8,000億円 2/15発行	国有林野借入 872億円 2/26借入	10-12月期のユーロ圏GDP2次速報 1月の英消費者物価指数
2/15 (木)	10-12月期のGDP 1次速報(内閣府 8:50)			12月の米企業在庫 1月の米小売売上高 1月の米鉱工業生産・設備稼働率 10-12月期の英GDP速報値
2/16 (金)	12月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30) 12月の石油等消費動向統計(経済産業省 13:30)	TB3M 58,000億円 2/19発行	流動性供給 5,000億円 2/19発行	1月の米生産者物価指数 1月の米住宅着工件数 2月のミンガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/12 (月)	振替休日								
2/13 (火)	300	▲ 26,900	▲ 26,600	CP買入 国債補完 国債買現先	▲ 500 33,400	29,800	62,700	36,100	TB3M発行▲58,000 償還56,000 TB6M発行▲40,000 償還40,000 5Y発行▲25,000
2/14 (水)	1,000	2,000	3,000	CP買入		4,000	4,000	7,000	
2/15 (木)	500	69,000	69,500				0	69,500	源泉税揚げ、年金定時払い GX10Y発行▲8,000 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲2,400 個人向け3Y・5Y・10Y償還1,300 交付税借入▲12,500 期日12,000
2/16 (金)	▲ 500	▲ 3,000	▲ 3,500				0	▲ 3,500	労働保険料揚げ
週間合計	1,300	41,100	42,400	—	32,900	33,800	66,700	109,100	

2/13は日銀予想、2/14以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、邦銀勢を中心に調達ニーズの強い状況に変化は無いと思われ、出会いレートは引き続き高水準での推移が予想される。債券レポ GC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、レートは▲0.10～▲0.05%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、16日(金)に3M物の入札実施が予定されている。また、14日(水)に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、五十日に当たる発行が控えており、発行水準が注目される。

主要なイベントは、国内では13日(火)に1月の企業物価指数、15日(木)に10-12月期のGDP 1次速報、海外では、13日(火)に1月の米消費者物価指数、14日(水)に10-12月期のユーロ圏GDP2次速報、15日(木)に1月の米小売売上高、10-12月期の英GDP速報値などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。